



市議会だより

みやま^んギカイ

No.63 令和4(2022)年11月1日発行

令和4年7月臨時会・9月定例会の内容などをお伝えします。



サップ
SUPインストラクター 久保 尚弥さん(右)
移住コンシェルジュ 美子さん(左)

CONTENTS

P2～3	7月臨時会の概要等
P4～5	9月定例会の概要等
P6～7	決算審査特別委員会報告
P8～11	一般質問
P12～14	委員会の報告など
P15	表紙のひとなど
P16	聞かせて!あなたの夢

新型コロナウイルス感染症対策費を可決

—— 7月の臨時会で決まったことから主なものを取りあげます。 ——



みやま市マスコットキャラクター

くすっぴー

一般会計補正予算額
新型コロナウイルス
感染症対策事業
1億6623万7千円

臨時第3回市議会では、新型コロナウイルス感染症対策に係る支援策（がんばりグッチョ・全力応援事業・第3弾）として提案された一般会計補正予算の議案1件を審議し、可決しました。

臨時第3回市議会

会期 7月29日（1日間）

詳しくはこちら↓



新型コロナウイルス感染症対策支援策

住民税均等割のみ課税世帯・家計応援事業
5677万円

物価高騰等により生活に困っている方への支援及びコロナ禍で落ち込む地域経済の回復を支援するため、市内限定の商品券（みやま家計応援商品券）5万円分を給付するものです。

農業経営継続支援（肥料高騰緊急対策事業）
4320万円

コロナ禍における原油価格や物価高騰に伴う肥料価格の高騰による農業経営への影響を軽減するため、価格高騰分に対して見込まれる国の肥料高騰対策に上乗せして助成するものです。

漁業経営継続支援（原油価格高騰対策事業）
230万円

コロナ禍における原油価格の高騰の影響を受けた漁業者の負担を軽減するため、価格高騰分に対して助成するものです。

プレミアム付き商品券事業

1850万円

物価高騰の影響を受けた市民や事業者の負担軽減を図り、地域経済の回復・活性化を支援するため、市内限定のプレミアム付き商品券を追加発行するものです。〈発行額1億円〉

・申込期間 ペーパー 9月1日～9月8日

デジタル 10月1日～販売額に達し次第終了

市内中小企業者支援（経営力向上応援事業）

600万円

新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰の影響を乗り越えるため、販路開拓や経営革新に取り組む中小企業者を支援するものです。

保育所等給食・食材高騰助成事業

1000万円

ウクライナ情勢や円安の進行等によって保育所等の給食食材価格が高騰しており、食材の質の低下防止や保護者の給食費の負担軽減を図るため、価格上昇分に対し助成するものです。



地域公共交通確保維持改善事業

409万円

コロナ禍においてキャッシュレス化が推進されるなか、地域公共交通の機能強化及び市民の利便性向上を図るため、路線バスにICカードシステムを導入する経費について、その一部を助成するものです。

児童生徒学習環境整備事業

498万円

学校の感染対策及び熱中症対策を図ることにより、子どもたちが安心して学べる環境整備を行うものです。

教育・文化施設感染防止対策事業

2040万円

各小中学校及び市立図書館の更なる感染防止対策を図ることにより、子どもたちや市民が安心して学ぶことができる環境整備を進めるものです。



こんなことが決まりました

—— 定例第3回市議会で決まったことから主なものをとりあげます。 ——

定例第3回市議会

詳しくはこちら↓



会期 9月2日～9月16日(15日間)

定例第3回市議会では、令和4年度補正予算など議案6件、認定7件、請願2件、発議2件、報告1件を審議し、すべて可決・認定・採択しました。

◆ 令和4年度 補正予算 ◆

一般会計

7億6433万2千円を追加し
総額 226億442万3千円

介護保険事業特別会計

3322万2千円を追加し
総額 50億6466万8千円

一般会計補正予算の財源

○国庫支出金	2億4799万2千円
○県支出金	2864万8千円
○繰越金	4億6589万2千円
○市債	2180万円

一般会計補正予算 歳出の主なもの

財政調整基金積立金

4億5000万円

地方財政法による前年度剰余金を財政調整基金に積み立てるものです。

障がい児支援サービス費

5264万8千円

放課後デイサービス費や児童発達支援サービス費等が増加する見込みのため、不足分を追加補正するものです。

新型コロナウイルスワクチン接種・体制 確保業務委託料 9678万2千円

オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチン接種開始に対応するため、接種委託料及び予約受付コールセンター業務等委託料を追加するものです。

省工不園芸農業緊急支援事業補助金

463万6千円

施設園芸農家で、新技術に対応した省工不機械（ナスの炭酸ガス局所供給システム）導入費用の一部を助成するものです。

防火水槽設置工事費

1200万円

消防水利を確保し、市民の生命・財産を守るため、防火水槽を新設するものです。（瀬高町本郷地区）

新型コロナウイルス感染対策関連予算 （がんばりグッチョ・全力応援事業・第4弾）

1億2024万円

○地域医療福祉事業所継続応援金	3600万円
○農業経営継続支援	3200万円
○畜産業経営継続支援	169万円
○運送事業者事業継続支援	1500万円
○インフルエンザ予防接種助成事業	916万円
○修学旅行等キャンセル料助成事業	210万円
○山川市民センター空調整備事業	2000万円
○WiFi設備設置事業	93万円
○オンライン学習用撮影機器購入事業	77万円
○その他感染症対策事業	259万円

※第4弾について詳細はこちらからご確認ください。↓



報告

令和3年度決算に基づく財政の健全化審査について報告がありました。是正改善を要する事項はありませんでした。

請願

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願

採択
↓
国へ意見書を提出

職業差別や偏見等の根絶を求める請願

採択
↓
決議を可決
※詳しくは14ページ

認定

認定については、令和3年度の決算審査に関する内容ですので詳しくは次ページ以降をご覧ください。

委員会の設置

タブレット端末導入のための特別委員会を設置しました。

※関連記事14ページ

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。



税金の使い道を確認しました

決算審査 特別委員会

決算審査特別委員会に付託された案件は、令和3年度一般会計決算・各特別会計決算・上水道事業剰余金の処分及び決算・下水道事業決算の全7件です。

9月8日・9日・15日に14名の議員で構成する決算審査特別委員会と、12日・13日・14日には各常任委員会で開催する分科会を開催しました。

予算の執行状況や行政効果など、当該年度限りではなく将来の展望に立った総合的な審査を行いました。

令和3年度 一般会計 決算状況

歳入決算額	259億 916万6千円	(前年比 4.4%減)
歳出決算額	249億 40万6千円	(前年比 5.5%減)
翌年度繰越財源	2億 504万7千円	
実質収支額	8億 371万2千円	(前年比 34.4%増)

令和3年度 各会計決算状況

		歳 入（収入）	歳 出（支出）	収支の差額
特別会計	国民健康保険事業	58億1268万円	54億1959万円	3億9309万円
	後期高齢者医療	6億6914万円	6億6704万円	209万円
	介護保険事業 ・ 介護保険事業勘定 ・ 介護サービス事業勘定	51億2998万円 2265万円	48億4103万円 1246万円	2億8895万円 1019万円
	用地	8万円	0円	8万円
	合 計	116億3455万円	109億4013万円	6億9442万円
一般会計及び特別会計 合 計		375億4372万円	358億4053万円	※14億9814万円
上水道事業会計 ・ 収益的収支 ・ 資本的収支		5億6056万円 1億4446万円	4億8798万円 3億6123万円	7257万円 △2億1676万円
下水道事業会計 ・ 収益的収支 ・ 資本的収支		6億7878万円 4億3497万円	6億5980万円 5億3302万円	1898万円 △9805万円

※は翌年度繰越財源を差し引いています。また全体として千円以下切り捨てで計算しているため合計の金額は一致しない所もあります。

◆ 議会からの指摘事項 ◆

全体的事項

- 決算の状況及び決算審査特別委員会の指摘事項を踏まえ、適正な予算編成に努めること

- 予算の執行にあたっては、不用額の減少に努め、引き続き最小の経費で最大の効果が得られるよう努力すること

- 決算に係る主要な施策の成果説明書について、記載内容の改善・充実を図ること

一般会計

◆ 歳入について

- 税の徴収については努力が認められるが、今後も不公平が生じないよう取組みの強化を図ること

- ふるさと寄付金については、民間の活用を図る等、さらなる自主財源の確保に努めること

◆ 歳出について

【総務】

- コミュニティバスについては、市民の足の確保のため、多様な見直しを検討すること



【保健・福祉】

- 新型コロナウイルス自宅療養者等応援金の運用においては、家庭の状況に応じた、きめ細かな対応に努めること

【教育】

- GIGAスクールの推進にあつては、教員の習熟度を高めるよう、一層、研修等に取り組むこと

- 公共施設において洋式トイレが整備されていない施設については、関係部署と連携し、計画的に整備を進めること

- 公共施設の管理委託等については、長期の休館が生じる場合の委託料について、契約内容の精査を行うこと

【農林水産・建設】

- 国・県の補助事業を活用し、農漁業等の振興を図ること。併せて、第一次産業の支援充実を図ること

- 第一次産業の課題解決に向けて、関係機関と協議し、緊密に連携すること

- 有害鳥獣による農作物被害防止のため、駆除員の増員・育成を図ること

- 6次産業化については、引き続き商品化に向けて積極的に推進すること



- 水門等の施設の維持管理に努めること。併せて、操作人の育成を図ること

- 災害復旧や地元からの工事要望については、関係者と協議しながら、丁寧に対応すること

特別会計

【介護保険事業】

- 地域における介護予防事業については、コロナ禍においても、市民の通いの場として拡充に努めること

企業会計

【水道事業】

- 老朽化した水道管の布設替えを計画的に進めること

- 以上、決算審査特別委員会として、令和3年度一般会計決算・各特別会計決算・上水道事業剰余金の処分及び決算・下水道事業決算の7件はいずれも原案可決及び認定すべきものと決定しました。

ここが聞きたい！

一般質問



一般質問って・・・？

一般質問とは、議員が市長等に対し、市の行財政全般にわたる事務の執行状況や、将来に対する方針等についての考えを問い、報告や説明を求めたり不明な点を問いただしたりするものです。

一般質問は、定例会だけに許されているもので、みやま市議会では、質問内容を事前に議長に文書で知らせる「通告制」をとっています。

当市議会では申し合わせで、質問時間は答弁時間を含めて1人60分と決めています。

また、当市議会には会派がないため、会派を代表して行う「代表質問」は行われていません。



農業を核とした産業育成は

答弁／引き続き活性化に努める



河野一仁 議員



問 農業が抱える多くの問題

の中に、高齢化・担い手不足、耕作放棄地の増加などがあり、その結果は場環境の悪化に大きく影響をおよぼしている。

田の畦や水路の雑草の繁茂また、法面などの維持管理の対策は。

答 従来どおり農業者だけで水路や農道の管理を行うことは年々厳しさを増してきており、農業農村の環境保全は本市の重要な課題である。

そこで農地を適切に保全するため「多面的機能支払事業」と「中山間地域直接支払事業」を推進しており、減少する農業者だけでなく地域の方々との協業により保全管理を行い、地域ぐるみでの共同作業を支援する取り組みを行っている。

問 農業を核とした産業の創

出・育成は。

答 本市の基幹産業は農業で

あり、農業振興は地域経済の土台となると考えている。

担い手不足の解消策として、トレーニングファームの設置や先進農家への研修を行い、新規就農者が定着できるよう支援している。

また、生産力の向上対策として機械導入を推進し、減少する農業経営体の農地を集約化しながら認定農業者や農業法人を支援していく。



雑草が生い茂る水路

インフラを活用した産業振興を

答弁／道路網や公共交通網を活用する



古賀義教 議員



問 インフラを活用した商工業

や観光産業の振興の具体策を問う。

答 産業団地の整備、「道の駅みやま」を活かした情報発信機能強化、「JR瀬高駅周辺活性化計画」の具体化に取り組む。

問 今の「みやま」に活力を生むには、人の流れを引き込む起爆剤が必要。

高速道路には1日5万台の通行量があり、人・物・情報・お金の流れがあり、そこに「みやま」の玄関を創り産業振興を図るべき。

サービスエリア内に、久山町にあるような商業施設誘致で核を造り、そこで市内業者の育成を図るなど、高速道路を活用した産業振興をどう思うか。

答 高速道路の管理会社と相談も必要。今後検討する。

問 東町団地跡地を活用した

若年世代の定住促進を図る場

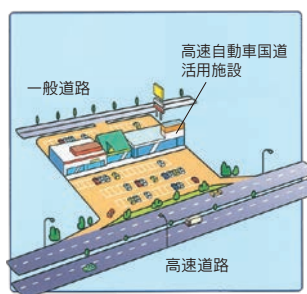
合、市有地は市民の大切な財産であり、安く売却すれば市に損害を与え、更に周辺の地価も下げることになる。

答 地価の下落など考慮し、サウディング調査結果で進める。

問 市内の宅建業界が仕事ができる施策を考えるのが行政の仕事、また、市長の使命でもある。

答 サウディング調査の中には、市内業者もいるのでぜひ進めたい。

ほかに、保健医療経営大学用地について質問しました。



高速道路を活用した事業例

インターロッキングの対応は

答弁／不具合は三者で
協議し対応する



中島一博 議員



問 市民センターは6月20日

に検査は済んでいるが、その後、インターロッキングに不具合が生じたのは、施工業者・設計業者に瑕疵があると思うが、今後どう対応するのか。

答 議員の皆様の意見と、市民の声を聞きながら今後、不具合については三者で協議して対応していく。

問 保健医療経営大学跡地につ

いては、市民の財産であり、みやま市にどのようなメリット等があるのか、15校区で説明すべきだと思うが。

答 令和5年度の適切な時期に、ぜひ市民の皆様にお話しする機会を設けたい。

問 高田小学校体育館建設につ

いて、一般財源で12月に設計補正予算を組んで、令和5年3月

に建築工事の当初予算を計上することは可能か。

答 一般財源で可能であるが、国庫補助金手続きの関係もあり、令和5年度に設計、令和6年度から工事に着手し、令和7年度2学期から使用できるスケジュール案で進める。

問 高田町・山川町のみたままつり献灯式になぜ、ドタキャンされたのか。

答 みたままつりの出席を失念していた。



10月1日開館した総合市民センター

水道管の老朽化対策に注力を

答弁／更新需要を踏まえ
整備を行う



村上義徳 議員



問 水道管の老朽化対策については水道事業独自の収益で運営を継続し、その収益で市内主要管の改修や布設替えを進めていく必要がある。

主要管の破損等が起きた場合、市内の水道利用世帯や事業者への給水影響のみならず、市街地、または道路の浸水や陥没などインフラにも影響を及ぼす可能性がある。そのため、調査・布設替えの集中的年度の設定など行い、みやま市の「水の安全保障」政策を速やかに推進すべきだが、市の見解は。

答 主要管の耐震化については、企業会計予算の範囲内において、経営努力を重ね、今後20年で17億円を投入し調査検討を行いながら計画する。

総合市民センター設備点検をせよ

問 総合市民センター建設については、完成間際まで様々な指

摘があり進んできたが、まだ本当の意味で完成とは言えない。ユニバーサルデザインを取り入れ、多様な方々に安心して利用いただける施設としては未完である。本当の完成までやり遂げる意思はあるのか。

答 様々な意見を頂戴し耳を傾けより良い施設にする。



水道主要管の布設替え

高校3年生まで「子ども医療費」助成を
答弁／優先順位を含めて
検討する



奥園由美子 議員



問 乳幼児および児童の医療費の自己負担額の一部を支給する「子ども医療費」だが、全国の自治体では、半数が中学3年生まで、約4割が高校3年生まで助成している。

みやま市では、中学3年生まで助成しているが、高校3年生まで対象拡大する考えはあるか。

答 本市では所得制限を設けず、対象年齢の方全員に医療証を交付している。

今後、子育て支援策全体の枠組みの中で、優先順位を含めて検討していく。

問 みやま市の小中学生の通院負担額は、県内でもトップレベルの助成額だが、あまり周知されていないと感じる。

今後、移住・定住を考える子育て世代も含め、「子どもが安心して医療を受けられるまち」

との積極的な広報活動をしては。

答 移住を検討する際の参考にしてもらうための「移住ガイドブック」を発行し、ホームページにも掲載している。

移住ガイドブックでは、「子育て環境（一等地）」と銘打ち、子育て支援制度全般を掲載し、PRを行っている。

今後、移住・定住といった視点での制度周知に、より一層努めていく。

中学3年生まで安心！

子ども医療費助成

対象 年齢	出生～ 3歳未満	3歳～ 小学校就学前	小学1年生～ 中学3年生
外来	無料	600円/月	800円/月
入院	無料	500円/日(月7日限度)	
調剤	無料		

※1 医療機関ごとの負担額です。
入院時の食事代、その他保険適用外の費用は対象外です。

みやま市の「子ども医療費」助成制度

市長就任後4年間の実績と
今後は
答弁／持続可能な
まちづくりを目指す



上津原 博 議員



問 西原市政を引き継ぎ4年が過ぎようとしている。市民皆さんの期待は大変なものがあつたのではと推察する。

就任後みやま市の課題も山積している中、新型コロナウイルス感染症の影響があり、市長としてやりたい事についても、難しかったのではと思われる。就任後、何事にも誠心誠意精一杯取り組まれてきたと思われるが、4年間の実績とやり残したことなどは。

答 多様化・複雑化する市民ニーズや行政課題に対応するとともに、市民の皆様と行政が協働し、新しい時代を切り開いていくため、SDGsの理念に基づいた、将来の市の指針となる「第2次みやま市総合計画」を策定し、市政運営に取り組んできた。

不十分と感じることはコロナ禍により企業訪問ができなかつた。また、企業側のコロナ禍による企業活動への影響もあり、実現には至っていない。企業の情報収集に努めながら、雇用が見込まれる業種や立地意向のある企業を中心に誘致活動に取り組んでいく。

また、福岡県保健環境研究所の移転誘致で、本市がワンヘルス先進県の中核地となることを目指す。



企業誘致で活性化が期待される産業団地

委員会報告



総務常任委員会

〔定例会報告〕

9月12日に委員会および決算審査分科会を開催しました。

ことを求めるものです。

慎重審査の結果、いずれも原案通り可決・採択すべきものと決しました。

議案「みやま市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、育児休業の取得回数制限の緩和や、非常勤職員の子の出生後8週間以内の育児休業の取得要件の緩和、また、非常勤職員の子が1歳以降の育児休業について、取得の柔軟化を図るものです。

分科会では、令和3年度一般会計、国民健康保険事業特別会計決算について所管の質疑を行いました。

請願「職業差別や偏見等の根絶を求める請願」は、新型コロナウイルス感染症等に関連し、社会生活を支える職業への敬意と感謝を忘れず、職業差別的な言動および排除するような行為を行わないことについて市議会が意思表明すること。また、市は個人情報に十分配慮しつつ、職業差別や偏見等の根絶につながるように広報・周知に努める



文教厚生常任委員会

【定例会報告】

9月13日に委員会および決算審査分科会を開催しました。

議案「みやま市市民センター条例の一部を改正する条例の制定について」は、総合市民センターに設置するコイン式ユニットシャワーの使用料を、1回100円に設定するものです。

請願「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について」は、子どもたちの豊かな学びや学校の働き方改革を実現するために、国の関係機関へ意見書の提出を求めるものです。

いずれも慎重審査の結果、原案どおり可決、採択すべきものと決しました。

分科会では、令和3年度一般会計ほか3特別会計決算

について質疑を行い、慎重に審査しました。

所管事務調査では、令和5年4月に開校する「高田小学校」建設工事の現地視察を行いました。現在の進捗状況や今後の予定などの説明を受け、質疑を行いました。



産業建設常任委員会

【定例会報告】

9月14日に委員会および決算審査分科会を開催しました。

議案「工事請負契約の締結について」は、道路災害復旧工事に伴い、その予定価格が1億5千万円以上となることから、議会の議決を求めるものです。

条件付一般競争入札を実施した結果、工事請負人は「鍋田・ユウキ特定建設工事共同企業体」で、請負金額は1億433万2800円で、契約締結後ただちに着工し、令和5年3月25日の完成を予定しております。

慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

その他、一般会計補正予算の所管分などについて、慎重に審査を行いました。

また分科会では、令和3年

度一般会計、下水道事業の決算、上水道事業剰余金の処分及び決算の認定について、所管の質疑を行い審査しました。



タブレット端末導入特別委員会

9月2日に議長発議により、タブレット端末導入特別委員会を設置しました。

議会運営等の効率化や自然環境に配慮したペーパーレス化推進のため、タブレット端末の導入を検討する特別委員会です。

今後の主な協議事項は、次のとおりです。

- 導入費用・ランニングコストの検証（紙での議会運営費とタブレットを導入した場合の費用の比較など）
- 導入時期の検討
- 機種を選定、導入数の検討
- ペーパーレス化する項目の洗い出し
- 議場等のインターネット環境の整備
- タブレット使用規定の策定
- 条例等の改正（オンライン会議対応）

執行部とも協議しながら、導入・運用に向けて、丁寧な議論で委員会を進めていきます。

【委員】

委員長 上津原博
副委員長 村上義徳
委員 奥園由美子、吉原政宏
荒巻隆伸、中島一博



八女市議会へ行政視察

特別委員会の設置に先立ち、タブレット端末導入の検討に向け、全議員で7月12日・20日の2日間に分かれて、行政視察を行いました。八女市議会ではすでにタブレット端末を導入し活用されています。視察では、実際にタブレットを操作しながら説明を受けました。

職業差別や偏見等の根絶に関する決議

長引く新型コロナウイルス感染症により、市民生活や社会経済活動が大きな影響を受け、市民は先の見えない不安を抱えた生活を余儀なくされている。

こうした厳しい状況にありながらも、医療従事者をはじめ、介護・保育・福祉関係従事者、土木・建築などのインフラ整備従事者、また公共交通や物流、販売事業者、さらには環境衛生に携わる方々など、日々感染リスクに近接しながらも日夜献身的に精励されており、そのおかげで私たちの生命と安全安心な暮らしが支えられている。

しかし残念ながら、憶測による誤った情報が拡散され、職業差別や偏見、誹謗中傷など、あってはならない事例が発生しており、これらは人権擁護の観点からも断じて許すことはできない。

本市議会は、新型コロナウイルス感染症のリスクと闘いながら、地域の生活基盤を支えるために強い使命感をもって日々現場で懸命に職務を遂行されている全ての職業の方々に対し、感謝と敬意を表するとともに、人権尊重の意識を市民と共有し、一体となってあらゆる職業差別や偏見等の根絶を目指して取り組むものである。

以上、決議する。

令和4年9月16日 みやま市議会

表紙のひと

今回は、神奈川県からみやま市に移住された久保さんご夫妻にお話を伺いました。

みやま市出身のご友人との出会いがきっかけで、みやま市を訪れるうちに、とても好きな場所になったそうです。「きれいな景色と、おいしい食べ物。何より移住の一番の決め手は人の温かさです」と、初対面でも散歩中に声をかけてもらうことが嬉しいと話されました。また、意気投合したご夫妻との素敵な出会いも。

尚弥さんは、SUPのインストラクターとしてSUPを広めるため活動。身近に感じてもらうとSUP体験ができる「countryside98」も運営されています。一方、農作業の手伝いもされており、「いろんなつながりの中で地元の方に親しくしてもらい、助けてもらいながら、周りの方のおかげで楽しく過ごしています」と話されました。



サップ
SUPインストラクター
移住コンシェルジュ



くぼ ひさや
久保 尚弥さん
よしこ
美子さん



美子さんは移住コンシェルジュとして「一般社団法人 有明月」で活動。「みやま市のことをもっと知り、良さを伝えていきたいです」とのこと。

みやま市に来てしばらくは借家に住みながら家を探し、現在の住まいを見つけることができたそうです。「移住を考えるなら事前に何度か足を運び、その地域のことを知っておくといいと思います」とご夫妻。移住をすすめるにあたっては、移住しやすい環境や仕組みの必要性を改めて感じました。

「お金では買えない、心豊かな毎日を過ごしています」と話す久保さんご夫妻からは、みやま市への愛情が伝わりました。

SUP・・・「Stand Up Paddleboard(スタンドアップパドルボード)」の略称。ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進んでいく新感覚のアクティビティ。

一般会計と特別会計

市には、次の3つの会計があります。

●一般会計

教育・福祉や道路・公園の整備など、主に市の基本的な市民サービスの提供をはじめとする行政運営を行う会計です。市税などを主な財源としています。

●特別会計（国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険事業・用地）

特定の目的のための会計で、国民健康保険税や介護保険料など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計です。

●企業会計（上水道事業・下水道事業）

水道料金など事業の収入を主な財源とし、独立採算制による事業の運営をしています。

このように、市の行政サービスは広範多岐にわたっており、合理的に分かりやすい会計経理を行うために、一般会計のほか特別会計を設けています。これらの市の予算・決算について、予算審査特別委員会・決算審査特別委員会で審査します。

聞かせて! あなたの夢



大江小学校 6年
すがはら れん
菅原 漣さん

将来の夢

僕の将来の夢は、検察官です。検察官の仕事は、事件の真実を突き止めることです。きっかけは、「99.9」というドラマを見て、検察官の仕事に興味をもったからです。

将来は、検察官の仕事に一生懸命に取り組み、平和で正義が通る世の中にしたいです。そのため今、2つのことを頑張っています。1つ目は、国語の文章問題に取り組むことです。人の心や法律を読み解くことに必要です。2つ目は、公正、公平な態度です。だれにでも同じように接することを心がけています。夢に向かって、少しずつ成長できるように頑張ります。



- 編集委員**
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 中尾眞智子 |
| 副委員長 | 吉原 政宏 |
| 委員 | 河野 一仁 |
| 委員 | 村上 義徳 |
| 委員 | 奥蘭由美子 |
| 委員 | 宮本 五市 |

《次回定例会》
12月6日(火)
開会予定

インターネットで
中継・録画を配信
市ホームページ
「みやま市議会」の
「インターネット中継」
からご覧ください。



編集後記

我が家には、子どものころから毎年たくさんの実をつける柿の木があります。今年もまた美味しそうな実がたわわに実りました。

秋が来て柿の実を見ると中学時代の国語の先生から聞いた俳句を思い出します。

『復員す 柿むく妻の 手の震つ』

戦争が終わり、愛する人が無事に帰ってきた大きな喜びと安堵の思いから、柿を剥く手が震えていたんだろうと先生の解説。今でも思い出すたびにとても切ない気持ちになります。

2月から始まったロシアとウクライナの戦争は、すでに半年を過ぎています。ニュースで見る戦争の悲惨な現実、恐怖と怒りと悲しさがごちゃごちゃと入り混じります。

愛する人や家族、友人を戦いの場に送ったロシアの人もウクライナの人も皆、早急の終戦を願い、一刻も早く無事に帰ってきてほしいと祈っておられるに違いないと思っています。

黄金色に実った田んぼ道を散歩しながら、豊かな穀倉地帯であるロシアやウクライナに一日も早く平和な日々が訪れますように心からお祈りします。

編集委員長 中尾 眞智子

みやま市ホームページアドレス <https://www.city.miyama.lg.jp/>